



阿見町×SDGs 特集 vol.2



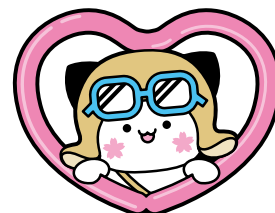
～身近な SDGs 始めませんか？～

政策企画課 ☎ 888-1111(216)

持続可能な開発目標 SDGs について

2015年9月に国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17の目標・169のターゲットからなり、地球上の「誰一人として取り残さない」ことを誓っています。このように、SDGsは地球規模の目標を掲げており、世界中のあらゆる人たちが協力することで、その達成に近づくことができます。

まずは、SDGsという共通目標のもとお互いを受け入れ、同じ課題を持つ人と協力して取り組んでみましょう。



身近な SDGs

今回は、17の目標のうち、5～8を紹介

目標 5:ジェンダー平等を実現しよう

- ・家事は、男女の性別関係無く家族で分担する
- ・性的な発言、差別的な言動、嫌がらせをしない
- ・ジェンダー格差を学び視野を広げる
- ・職場の雇用待遇が均等になっているか確認する
- ・男性も積極的に育児休暇を取得する



目標 6:安全な水とトイレを世界中に

- ・手洗いや、石けんを手に付けている間は水を止める
- ・トイレの水の流しすぎや、お風呂のシャワーの使いすぎをやめる
- ・お風呂の残り湯を草花の水やりなどに再利用する
- ・食用油は排水口に流さず、新聞紙やペーパータオルで拭き取って燃えるゴミに出すようにする



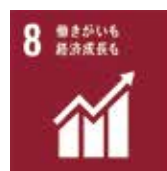
目標 7:エネルギーをみんなにそしてクリーンに

- ・使用していない家電製品のコンセントは抜く
- ・エアコン設定温度の高すぎ、低すぎに注意する
- ・照明などの明かりは省エネのLED電球にする
- ・省エネ性能の高い家電製品へ買い換える
- ・自宅の屋根にソーラーパネル発電を設置する



目標 8:働きがいも経済成長も

- ・地元で生産された食材を購入する
- ・残業時間を減らしたり、休暇を十分にとるようにしてワークライフバランスを整える
- ・テレワークを利用して心身の負担を軽減する
- ・職場で、育児・介護を支援する制度を取り入れる



あさひ小学校PTAの取り組み「あさひチャレンジ」のご紹介

あさひ小学校のPTAでは、児童参加型の「あさひチャレンジ」を令和2年度から実施しています。4回目となる今回のチャレンジ内容は、「ペットボトルキャップ何個積めるかチャレンジ」でした。チャレンジに使用したキャップは学校で回収し、リサイクル業者へ持込みました。総重量は約90kg、キャップの個数は約45,000個です。これらは、ワクチン45回分として発展途上国の子どもたちへ寄付されます。SDGsは一人ひとりが主役です。その達成のためには、私たち一人ひとりの小さな行動がとても重要になります。SDGsにはこうしなければならないというルールは存在しません。今の自分にできることは何なのかを考えてみましょう。



▲職員室前のSDGs掲示物



▲あさひ君とボランティア委員会の皆さん

SDGsに関する情報は町ホームページ
「SDGs17の目標 私たちにできること」でご案内しています。
右の二次元コードからご覧ください。

